

令和2年度

一般財団法人 鹿児島市スポーツ振興協会

決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市スポーツ振興協会

目 次

令和2年度一般財団法人鹿児島市スポーツ振興協会事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	2
3	会議に関する事項	1 1
4	役員等に関する事項	1 2
5	登記事項	1 3
6	加盟団体に関する事項	1 3
7	賛助会員に関する事項	1 3
8	常勤の役員及び職員に関する事項	1 3

令和2年度一般財団法人鹿児島市スポーツ振興協会決算報告書

1	貸借対照表	1 5
2	正味財産増減計算書	1 6
3	正味財産増減計算書内訳表	1 8
4	財務諸表に対する注記	2 0
5	附属明細書	2 1
6	財産目録	2 2
	監査報告書	2 4

令和2年度一般財団法人鹿児島市スポーツ振興協会事業報告書

1 概要

協会設立初年度であった令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う甚大な影響が社会、経済、さらには人々の行動や価値観など、あらゆる面へと波及し、スポーツの面でも、各種競技大会やイベント等の中止・延期等が相次ぐなど、当協会にとっても難しい対応を迫られた年でしたが、ガイドラインに基づく感染症対策を講じながら、各面から生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じた交流の拡大等への取組を行いました。

地域におけるスポーツ振興及びスポーツ大会等の開催・支援に関する事業については、スポーツ推進委員と連携し、日程縮小や参加人数を考慮しながら、地域スポーツ教室やチャレンジ・ザ・ニュースポーツ等を開催したほか、錦江湾を生かしたヨット体験や初心者向けのヨット教室を実施しました。

また、「市民生き生きスポ・レクフェスタ」では、8競技のスポーツ大会と6つの体験種目に約1,000人の市民が汗を流したほか、総合開会式では鹿児島市スポーツ振興協会表彰として、スポーツ功労者の部で2人、優秀チームの部で2チーム、優秀選手の部で12人に表彰を行いました。

なお、コロナ禍における試験的な取組として、マリポートかごしまにおいてヨガ教室や県下一周駅伝の選手・監督などによる「小学生ランニング教室」を実施したほか、鹿児島銀行陸上部と西陵小学校の協力による「出張ランニング教室」も実施したところ、参加者から好評をいただいたことから、令和3年度において本格実施することとしました。

鹿児島地区駅伝運営委員会事務局としては、県下一周駅伝及び県地区対抗女子駅伝の強化練習や大会当日のサポートを行い、男子は総合2位、女子は5年ぶりの優勝を飾りました。

競技スポーツの振興に関する事業については、競技力向上対策事業として、パワーリフティング協会による「パワーアップ講習会」を開催したほか、国体強化指定選手等の市スポーツ施設の使用料免除に係る支援を行いました。

青少年スポーツの促進及び団体の育成に関する事業については、鹿児島市スポーツ少年団本部の事務局として、各単位団に対する登録事務手続についての説明会や指導者等への各種研修会などを行ったほか、初の試みとして、鹿児島レブナイズとのコラボレーション企画を行いました。

スポーツに関する団体及び人材の育成に関する事業については、市内13の地域スポーツクラブに対してスポーツ教室の運営を委託し、地域のスポーツ活動の推進を図ったほか、スポーツクラブの運営等についての研修会を開催しました。

スポーツに関する情報発信に関する事業については、当協会のホームページやSNS、会報誌を作成し、市民がスポーツへの関心を持ち、スポーツイベントに参加するきっかけとなるよう、積極的な情報発信に取り組みました。

また、市産業創出課の「かごしまデザインアワード」を活用して本協会のロゴマークを作成したほか、ロゴキャラクターの名称を公募し、ホームページ、SNS、会報誌のほか、のぼり旗やチラシ・ポスター等様々な機会を捉えて、本協会の周知に活用しました。

スポーツによる交流イベントの開催・支援に関する事業については、「スポーツコミッション」を設置している他都市の活動状況等について情報収集を行いました。今後も、関係団体と連携し検討を進めていきたいと考えております。

このほか、令和3年度当初からの公益法人化を目指し事務手続を進め、令和3年3月2日に開催された鹿児島県公益認定等審議会を経て、令和3年4月1日付けで公益財団法人として認定されました。

2 事業活動の状況

(1) 地域におけるスポーツ振興及びスポーツ大会等の開催・支援に関する事業

① スポーツ教室の企画・運営

(i) ニュースポーツ体験講座

スポーツ推進委員と連携し、市内13地域のうち2地域で、市民にニュースポーツ体験を通して運動の楽しさを感じてもらうとともに、生涯スポーツの振興を図った。

開催日：令和2年10月4日、11月15日

実施種目：ニチレクボール（室内ペタンク）、フロアカーリング

対象：一般市民

募集定員：各日50人（計100人）

参加者数：計27人

※新型コロナウイルス感染症の感染状況が不透明な中で、開催日の決定が遅れ、募集広報が十分できなかった。

(ii) タグラグビー体験講座

県ラグビー協会から講師を招き、スポーツ推進委員と連携し、市内13地域のうち4地域で、小学生がタグラグビーの体験を通して運動の楽しさを感じてもらう機会を創出した。

開催日：令和2年12月6、27日、令和3年1月31日、2月13日

対象：市内の小学生

募集定員：各日50人（計200人）

参加者数：計95人

※新型コロナウイルス感染症の感染状況が不透明な中で、開催日の決定が遅れ、募集広報が十分できなかった。

(iii) チャレンジ・ザ・ニュースポーツ「アリーナで遊ぼう！」

スポーツ推進委員と連携し、市民を対象に、ニュースポーツ体験を通して、体を動かすことの楽しさと喜びを感じてもらうとともに、世代を超えたふれあいや交流の場を創出した。

開催日：令和3年3月13日

会場：鹿児島アリーナ

対象：一般市民

募集定員：80人（一般参加分）

参加者数：124人（一般参加78人、スポーツ推進委員46人）

(iv) どこでもヨガ in マリンポート 【試験開催】

日常から少し離れ、開放感あふれる場所で、ヨガインストラクターの指導の下、正しい姿勢と正しい呼吸法を習得する機会を創出した。

開催日：令和2年10月25日

会場：マリンポートかごしま

対象：市内在住の20歳以上の方

募集定員：30人

参加者数：13人

(v) 県下一周駅伝選手による小学生「ランニング教室」 【試験開催】

本市の小学生の走力向上及び運動することへの興味や楽しさを感じてもらうとともに、選手との交流により、県下一周駅伝での活躍を応援してもらうきっかけを創出した。

開催日：令和2年10月25日

会場：マリンポートかごしま

対象：市内陸上スポーツ少年団に所属する小学4年生～6年生

募集定員：30人

参加者数：28人

(vi) 鹿児島銀行陸上部による小学生「出張ランニング教室」 【試験開催】

本市の小学生の走力向上及び運動することへの興味や楽しさを感じてもらうとともに、選手との交流により、県地区対抗女子駅伝での活躍を応援してもらうきっかけを創出した。

開催日：令和2年12月14日

会場：西陵小学校

対象：西陵小学校6年生

参加者数：125人

② 市民生き生きスポ・レクフェスタの開催（実行委員会事務局）

総合開会式では、市生涯スポーツ功労者等の表彰を行ったほか、市民の体力づくりを進める機運を高め、生き生きとした健康社会づくりを推進するため、市民が気軽に参加できる各種スポーツ大会（生き生きカップ大会）やレクリエーション体験（体験種目）を市内のスポーツ施設等で開催した。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年開催しているスポーツ講演会など、不特定多数が参加するイベントを行わない縮小開催とした。

（主催者である鹿児島市や関係団体などで構成する実行委員会で決定）

(i) 総合開会式

開催日：令和2年11月7日

内容：主催者挨拶（鹿児島市長）

来賓挨拶（鹿児島市議会議長）

表彰 [市関係]

市生涯スポーツ功労者表彰…………… 13人

市生涯スポーツ優良団体表彰…………… 2団体

[市スポーツ振興協会関係]

市スポーツ振興協会表彰

（スポーツ功労者の部）…………… 2人

（優秀チームの部）…………… 2チーム

（優秀選手の部）…………… 12人

市スポーツ少年団顕彰…………… 1人

[市レクリエーション協会関係]

市レクリエーション協会運動功労者表彰… 2人

(ii) 生き生きカップ大会・体験種目

開催日：令和2年11月7、8、14、21日（4日間）

会場：鹿児島アリーナ、永吉中央公園、郡山体育館、東開庭球場、
吉田文化体育センター、かごしま健康の森公園

実施種目：ラージボール卓球、ペタンク、ドッジボール、ソフトバレーボール、
ソフトテニス、テニス、ソフトバレーボール、弓道、太極拳、
ノルディック・ウォーク、マジック、あそびの城、凧あげ

対象：一般市民

参加者数：計1,037人

③ 南日本U-12サッカー大会の運営（実行委員会事務局）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

（主催者である鹿児島市、南日本新聞社などで構成する実行委員会で決定）

【当初計画】

開催日：令和2年8月22日～26日（5日間）

会場：南栄リース桜島グラウンド、南栄リース桜島広場

対象：日本サッカー協会第4種又はスポーツ少年団に登録しているチーム

④ 南日本小学生バレーボール大会の運営（実行委員会事務局）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

（主催者である鹿児島市、南日本放送などで構成する実行委員会で決定）

【当初計画】

開催日：令和2年8月7日～9日（3日間）

会場：桜島総合体育館（本館、補助館）

対象：スポーツ少年団に登録しているチーム

⑤ 各種事業の運営（海洋性スポーツ、市民体力づくり等）

(i) ヨットとふれあう体験帆走

錦江湾の自然を生かしたスポーツであるヨットが気軽に体験できる機会を提供し、海洋性スポーツへの理解やヨットの普及振興に努めた。

開催日：令和2年10月17、18、24、25日（4日間）

対象：一般市民

募集定員：各日午前・午後の部 各25人程度（計200人程度）

参加者数：計223人

(ii) 初心者ヨット教室（全5回講座）

一般市民を対象に、ヨットに関する知識と初歩的技術が身に付けられる機会を提供し、錦江湾を生かしたヨットの振興及び生涯スポーツの推進に努めた。

開催日：令和2年7月26日、8月2、9、30日、9月13日（5日間）

対象：一般市民（高校生以上）

募集定員：40人

参加者数：29人

(iii) ジュニアヨット教室（全5回講座）

市内の小・中学生を対象に、ヨットに関する知識と初歩的技術が身に付けられる機会を提供し、錦江湾を生かしたヨットの振興及び生涯スポーツの推進に努めた。

開催日：令和2年7月26日、8月2、9、22、23日（5日間）

対象：市内の小・中学生

募集定員：30人

参加者数：15人

(iv) シーカヤック体験講座（一般・親子）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、運営委託先の市カヌー協会と協議し中止

【当初計画】

開催日：5月～9月の7日間（一般2回、親子5回）

会場：磯海水浴場（5月～6月）、生見海水浴場（7月～9月）

対象：一般（一般市民（高校生以上）2人1組）

親子（市内の小・中学生と保護者（20歳以上）の2人1組）

募集定員：各日10組（20人）

(v) 地域スポーツ教室

スポーツ推進委員と連携し、市内13地域のうち4地域で、市民にスポーツを通して運動の楽しさを感じてもらおうとともに生涯スポーツの振興を図った。

開催日：年間を通して4会場で各2日間又は3日間

実施種目：スポレック、卓球、ソフトバレーボール

対 象：一般市民

募集定員：各50人（計200人）

参加者数：のべ計213人

※新型コロナウイルス感染症の感染状況が不透明な中で、開催日の決定が遅れ、募集広報が十分できなかった。

(vi) 市民体力テスト・健康体力相談

スポーツ庁が毎年行っている全国調査で、スポーツ推進委員と連携し、市内13地域のうち2地域で、市民が自分の体力・運動能力を知り、自ら体力・運動能力を向上しようとする意欲を育てるとともに、今後のスポーツ活動に役立てる機会を創出した。

開 催 日：令和2年10月18日、11月1日

測定内容：（20歳～64歳）

握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび

（65歳～）

握力、上体起こし、開眼片足立ち、10m障害物歩行

対 象：20歳以上の市民

募集定員：各50人（計100人）

参加者数：計70人

⑥ 鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会 鹿児島地区チームの運営
（鹿児島地区駅伝運営委員会事務局）

開催期間：令和3年2月13日～17日（5日間）

結 果：総合第2位

⑦ 鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会 鹿児島地区チームの運営
（鹿児島地区駅伝運営委員会事務局）

開 催 日：令和3年1月31日

結 果：優勝（5年ぶり）

(2) 競技スポーツの振興に関する事業

① 競技力向上対策事業

中央競技団体から監督・コーチ及び強化選手等を招聘し、本市のトップレベルの選手とその指導者等を対象に、研修会・強化練習会を開催し、指導者の資質向上と選手の強化を図るとともに、競技人口の拡大を図った。

実施競技：パワーリフティング

開 催 日：11月14、15日（2日間）

講 師：三土手 大介 氏（パワーリフティング・ベンチプレス元世界王者）

対 象：一般市民（高校生以上）

募集定員：各日50人程度（計100人程度）

参加者数：121人

※競技団体への希望調査やこれまでの開催実績等を踏まえ「柔道」、「スケート」についても実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催を見送った。

② 国体強化指定選手等への施設利用調整支援

国体強化指定を受けている市内の高校の部活動を対象に、鹿児島アリーナメインアリーナの施設使用に係る使用・減免手続を行った。

【支援実績】

鹿児島商業高校（バレーボール部：7回、バドミントン部：39回）

鹿児島女子高校（バレーボール部：7回、バドミントン部：23回）

(3) 青少年スポーツの促進及び団体の育成に関する事業

① スポーツ少年団本部の運営及び各団体への助言

(i) 登録事務説明会

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

【当初計画】

開催日：令和2年5月6日

会場：鹿児島アリーナ

対象：各単位団代表者

内容：登録事務手続の説明、少年団活動の意義や在り方についての研修

(ii) ブロック別指導者・母集団研修会

開催日：令和2年6月2～5、8、10～12、16日

内容：登録事務手続の説明等

開催ブロック数：9ブロック（他3ブロックは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

参加者数：計134人

(ii) スポーツ少年団指導者研修会

開催日：令和2年8月2日

内容：講話「子どもの体力とからだの成長」

実技「運動適正テストⅡ測定項目の実演」

参加者数：96人（指導者・保護者等）

(iii) 初級ジュニア・リーダースクール

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程及び内容を一部変更し開催

開催日：令和2年10月31日

内容：スポーツ活動、レクリエーション、講義等

参加者数：10人（小学5年生～中学2年生）

(iv) スポーツ少年団競技別交歓交流大会

開催期間：令和2年9月～令和3年2月

開催種目：9種目

※15種目の開催を予定していたが、他の6種目は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

(v) ブロック別交歓交流大会

開催日：令和2年9月13日

開催ブロック数：3ブロック

※全12ブロックのうち9ブロックは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

内容：野外活動、レクリエーション等

参加者数：1,199人

(vi) 年末クリーン作戦

実施日：令和2年12月20日

内容：各校区内の清掃美化活動

参加者数：6,436人（うち団員3,856人）

(vii) 鹿児島レブナイズ スポ少DAY

開催日：令和3年3月6日

会場：鹿児島アリーナ

内容：上級者クリニック、試合観戦

参加者数：578人

その他：「鹿児島レブナイズ バasketボールキャラバン」と題して、令和3年2月3日～3月4日の間に11のスポーツ少年団を回り、鹿児島レブナイズのコーチによるBasketボール教室を開催。練習後、鹿児島レブナイズへのメッセージカード記入及び応援動画を撮影した。

② アスリート発掘事業

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

【当初計画】

開催日：令和3年2月7日

会場：鹿児島アリーナ

対象：市内在住の小学4年生～6年生

募集定員：120人（応募人数278人）

実施内容：（測定項目）

10mスプリント、敏捷性、ジャンプ力、反応ステップ、バランス、

スイングスピード

※測定結果に基づき「向いているスポーツ」や「トレーニング方法」
をアドバイス

(スポーツ体験会)

本協会加盟17団体による体験会

(4) スポーツに関する団体及び人材の育成に関する事業

① 地域スポーツクラブ活動活性化事業

(i) スポーツ教室の委託

市内13の地域スポーツクラブに対し、スポーツ教室の運営を委託(年間30時間)

(ii) 地域スポーツクラブ育成連絡協議会

本協会が事務局となり、年間3回の研修会等を開催

※例年開催している「交流グラウンドゴルフ大会」「交流ソフトバレーボール大会」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により中止

【当初計画】

[交流グラウンドゴルフ大会]

開催日：令和2年7月4日

会場：松元平野岡運動場

[交流ソフトバレーボール大会]

開催日：令和2年11月15日

会場：吉田文化体育センター

② 本市出身選手等の地元企業への就職支援事業

令和3年度の事業開始に向け、本協会職員2名が職業紹介責任者講習を受講

(5) スポーツに関する情報発信に関する事業

① 協会ホームページの管理・運営事業

公開日：令和2年10月16日

アクセス数：25,676(3月末までの総計)

内容：協会概要、イベント等案内、各事業概要等

② SNS(フェイスブック等)を活用した各種情報発信事業

サービス名	公開日	投稿数	フォロワー数 (3月末時点)
インスタグラム	令和2年7月13日	147	616
ツイッター	令和2年7月13日	201	206
フェイスブック	令和2年7月20日	93	73

③ 協会会報誌作成

創刊号発行日：令和2年11月5日

発行部数：2,000部

配布先：市役所各課、市スポーツ施設、地域公民館、加盟団体、市スポーツ少年団、他財団等

(6) スポーツによる交流イベントの開催・支援に関する事業

① スポーツコミッションへの対応検討

県内のスポーツコミッションの活動内容や、全国の先進的な取組状況について、金沢文化スポーツコミッションを訪問するなど情報収集を実施

3 会議に関する事項

(1) 理事会

令和2年度の理事会の開催状況及び議決事項は、次のとおりです。

区 分	開 催 日	議 決 事 項
第1回	令和2年 6月22日	賛助会員制度の件 公益財団法人認定申請の件 鹿児島市スポーツ振興協会表彰の表彰者及び 鹿児島県体育協会表彰候補者の件 評議員会招集の件
第2回	令和2年10月23日	定款改正の件 公益財団法人認定申請書類提出の件 評議員会招集の件
第3回	令和3年 3月15日	令和3年度事業計画の承認の件 令和3年度収支予算の承認の件 職員給与規程一部改正の件 各種規則の改正の件 評議員会招集の件

(2) 評議員会

令和2年度の評議員会の開催状況及び議決事項は、次のとおりです。

区 分	開 催 日	議 決 事 項
第1回	令和2年 5月 1日	理事選任の件
第2回	令和2年 6月30日	公益財団法人認定申請の件
第3回	令和2年10月30日	定款改正の件 公益財団法人認定申請書類提出の件
第4回	令和3年 3月23日	令和3年度事業計画の承認の件 令和3年度収支予算の承認の件 理事選任の件

4 役員等に関する事項

(1) 役員

令和3年3月31日現在の役員は、次のとおりです。

役職名	氏名
会長	森 博 幸
常務理事	湯通堂 直
理事	土田 史郎
理事	米 森 基
理事	秋元 達也
理事	大瀬 克広
理事	音野 知子
理事	原田 茂樹
理事	住吉 大輔
理事	圖師 俊彦
理事	水流 弘行
理事	小倉 洋一
監事	高橋 雷太
監事	牧野 謙二

(2) 評議員

令和3年3月31日現在の評議員は、次のとおりです。

役職名	氏名
評議員	末吉 靖宏
評議員	深田 忠徳
評議員	桑原 祐一
評議員	大原 禎久
評議員	野 口 芳
評議員	赤 崎 誠
評議員	小田 常德
評議員	上村 行生
評議員	木原 利幸
評議員	具志堅 隆
評議員	上宇都 正昭
評議員	井元 康博
評議員	成 尾 彰

5 登記事項

令和2年度の登記事項は、次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
令和2年4月1日	鹿児島地方法務局	設立	令和2年4月1日
令和2年5月12日	鹿児島地方法務局	理事の変更	令和2年5月1日

6 加盟団体に関する事項

令和3年3月31日現在の加盟団体数は、次のとおりです。

前年度末	当年度末	増減
38団体	40団体	+2団体

※前年度末の団体数は、旧鹿児島市体育協会時のもの

【新規加盟団体】鹿児島市パークゴルフ協会、鹿児島市パワーリフティング協会

7 賛助会員に関する事項

令和3年3月31日現在の会員数は、次のとおりです。

種類	前年度末	当年度末	増減
団体会員	—	22団体	+22団体
個人会員	—	66名	+66名

※当年度より入会受付開始したため前年度はなし

8 常勤の役員及び職員に関する事項

令和3年3月31日現在の人員は、次のとおりです。

常務理事 兼事務局長	事務局次長	協会職員	嘱託職員	鹿児島市からの 派遣職員
1人	1人	6人	2人	2人
		事業班 4人 総務班 2人	事業班 1人 総務班 1人	事業班 1人 総務班 1人

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和2年度事業報告の附属明細書については作成していません。

令和2年度一般財団法人鹿児島市スポーツ振興協会決算報告書

1 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,250,832		5,250,832
未収金	86,000		86,000
貯蔵品	339,248		339,248
前払費用	61,440		61,440
流動資産合計	5,737,520		5,737,520
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000		3,000,000
基本財産合計	3,000,000		3,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	567,120		567,120
特定資産合計	567,120		567,120
(3) その他固定資産			
車両運搬具	693,105		693,105
什器備品	484,660		484,660
その他の固定資産	8,400		8,400
その他固定資産合計	1,186,165		1,186,165
固定資産合計	4,753,285		4,753,285
資産合計	10,490,805		10,490,805
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,306,340		1,306,340
預り金	523,482		523,482
流動負債合計	1,829,822		1,829,822
2. 固定負債			
退職給付引当金	567,120		567,120
固定負債合計	567,120		567,120
負債合計	2,396,942		2,396,942
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	3,000,000		3,000,000
指定正味財産合計	3,000,000		3,000,000
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)		(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	5,093,863		5,093,863
(うち特定資産への充当額)	(567,120)		(567,120)
正味財産合計	8,093,863		8,093,863
負債及び正味財産合計	10,490,805		10,490,805

2 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
賛助会員受取会費	300,000		300,000
受取会費計	300,000		300,000
事業収益			
事業収益	7,800		7,800
事業収益計	7,800		7,800
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	100,000		100,000
受取地方公共団体負担金	62,099,000		62,099,000
受取民間助成金	8,000		8,000
受取補助金等計	62,207,000		62,207,000
受取負担金			
受取負担金	400,000		400,000
受取負担金計	400,000		400,000
雑収益			
受取利息	2		2
雑収益計	2		2
経常収益計	62,914,802		62,914,802
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	16,527,149		16,527,149
退職給付費用	412,080		412,080
福利厚生費	3,459,384		3,459,384
旅費交通費	534,290		534,290
通信運搬費	208,551		208,551
車両運搬具減価償却費	231,035		231,035
什器備品減価償却費	41,360		41,360
消耗品費	528,582		528,582
印刷製本費	79,750		79,750
燃料費	50,225		50,225
光熱水料費	254,158		254,158
使用料・賃借料	1,043,770		1,043,770
保険料	47,430		47,430
諸謝金(報償費)	578,203		578,203
支払負担金	3,957,040		3,957,040
委託料	5,329,663		5,329,663
事業費計	33,282,670		33,282,670

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	4,091,788		4,091,788
給料手当	13,575,142		13,575,142
退職給付費用	155,040		155,040
福利厚生費	3,687,645		3,687,645
会議費	123,069		123,069
通信運搬費	88,481		88,481
什器備品減価償却費	39,380		39,380
消耗什器備品費	578,270		578,270
消耗品費	230,080		230,080
修繕費	3,069		3,069
印刷製本費	23,650		23,650
光熱水料費	254,157		254,157
使用料・賃借料	1,934,998		1,934,998
保険料	88,410		88,410
租税公課	84,800		84,800
支払負担金	563,600		563,600
支払手数料	422,230		422,230
委託料	92,400		92,400
管理費計	26,036,209		26,036,209
経常費用計	59,318,879		59,318,879
評価損益等調整前当期経常増減額	3,595,923		3,595,923
当期経常増減額	3,595,923		3,595,923
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益	932,540		932,540
什器備品受贈益	565,400		565,400
固定資産受贈益計	1,497,940		1,497,940
経常外収益計	1,497,940		1,497,940
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		0
当期経常外増減額	1,497,940		1,497,940
当期一般正味財産増減額	5,093,863		5,093,863
一般正味財産期首残高	0		0
一般正味財産期末残高	5,093,863		5,093,863
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,000,000		3,000,000
受取補助金等計	3,000,000		3,000,000
当期指定正味財産増減額	3,000,000		3,000,000
指定正味財産期首残高	0		0
指定正味財産期末残高	3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高	8,093,863		8,093,863

3 正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
賛助会員受取会費	300,000		300,000
受取会費計	300,000		300,000
事業収益			
事業収益	7,800		7,800
事業収益計	7,800		7,800
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	100,000		100,000
受取地方公共団体負担金	34,994,000	27,105,000	62,099,000
受取民間助成金		8,000	8,000
受取補助金等計	35,094,000	27,113,000	62,207,000
受取負担金			
受取負担金	400,000		400,000
受取負担金計	400,000		400,000
雑収益			
受取利息		2	2
雑収益計		2	2
経常収益計	35,801,800	27,113,002	62,914,802
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	16,527,149		16,527,149
退職給付費用	412,080		412,080
福利厚生費	3,459,384		3,459,384
旅費交通費	534,290		534,290
通信運搬費	208,551		208,551
車両運搬具減価償却費	231,035		231,035
什器備品減価償却費	41,360		41,360
消耗品費	528,582		528,582
印刷製本費	79,750		79,750
燃料費	50,225		50,225
光熱水料費	254,158		254,158
使用料・賃借料	1,043,770		1,043,770
保険料	47,430		47,430
諸謝金(報償費)	578,203		578,203
支払負担金	3,957,040		3,957,040
委託料	5,329,663		5,329,663
事業費計	33,282,670		33,282,670

科目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
管理費			
役員報酬		4,091,788	4,091,788
給料手当		13,575,142	13,575,142
退職給付費用		155,040	155,040
福利厚生費		3,687,645	3,687,645
会議費		123,069	123,069
通信運搬費		88,481	88,481
什器備品減価償却費		39,380	39,380
消耗什器備品費		578,270	578,270
消耗品費		230,080	230,080
修繕費		3,069	3,069
印刷製本費		23,650	23,650
光熱水料費		254,157	254,157
使用料・賃借料		1,934,998	1,934,998
保険料		88,410	88,410
租税公課		84,800	84,800
支払負担金		563,600	563,600
支払手数料		422,230	422,230
委託料		92,400	92,400
管理費計		26,036,209	26,036,209
経常費用計	33,282,670	26,036,209	59,318,879
評価損益等調整前当期経常増減額	2,519,130	1,076,793	3,595,923
当期経常増減額	2,519,130	1,076,793	3,595,923
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益	932,540		932,540
什器備品受贈益	206,800	358,600	565,400
固定資産受贈益計	1,139,340	358,600	1,497,940
経常外収益計	1,139,340	358,600	1,497,940
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	1,139,340	358,600	1,497,940
他会計振替前当期一般正味財産増減額	3,658,470	1,435,393	5,093,863
当期一般正味財産増減額	3,658,470	1,435,393	5,093,863
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	3,658,470	1,435,393	5,093,863
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,000,000		3,000,000
受取補助金等計	3,000,000		3,000,000
当期指定正味財産増減額	3,000,000		3,000,000
指定正味財産期首残高	0		0
指定正味財産期末残高	3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高	6,658,470	1,435,393	8,093,863

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、最終仕入原価法によっている。

② 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

③ 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額を限度として計上している。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	0	3,000,000	0	3,000,000
小 計	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	0	567,120	0	567,120
小 計	0	567,120	0	567,120
合 計	0	3,567,120	0	3,567,120

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当普通預金	567,120	(0)	(0)	(567,120)
小 計	567,120	(0)	(0)	(567,120)
合 計	3,567,120	(3,000,000)	(0)	(567,120)

(4) 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価格	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	924,140	231,035	231,035	693,105
器具及び備品	565,400	80,740	80,740	484,660
合計	1,489,540	311,775	311,775	1,177,765

5 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記において記載している。

(2) 引当金の明細

引当金の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	567,120	0	0	567,120

6 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金等	39,391	
	普通預金	鹿児島銀行 鹿児島市役所出張所	運転資金等	5,211,441	
	未収金	加盟団体1団体	競技団体への負担金戻入の 未収金	86,000	
	貯蔵品	切手、印紙、 文房具等	公益目的事業、管理部門で 使用するため	339,248	
	前払費用	損保ジャパン	公用車自動車保険令和3年度分	61,440	
流動資産合計				5,737,520	
(固定資産)	基本財産	定期預金	鹿児島銀行 鹿児島市役所出張所	公益目的保有財産として	3,000,000
	特定資産	退職給付 引当資産	鹿児島銀行 鹿児島市役所出張所	職員4名に対する退職金の 支払いに備えたもの	567,120
	その他 固定資産	車両運搬具	軽自動車1台	公益目的事業の用に供している	693,105
		什器備品	耐火金庫1台	管理部門の用に供している	204,820
			自動紙折り機1台 シュレッター1台	公益目的事業の用に供している 管理部門の用に供している	165,440 114,400
その他の 固定資産	軽自動車 リサイクル料	公益目的保有財産として	8,400		
固定資産合計				4,753,285	
資産合計				10,490,805	
(流動負債)	未払金	厚生労働省年金局 職員に係るもの アジア印刷株式会社 鹿児島市 その他13社 鹿児島市 地域スポーツ教室 講師4名	社会保険料3月分	372,772	
			時間外手当3月分	306,024	
封筒代			99,440		
事務所水料光熱費1～3月分			99,103		
各種商品・サービス等			361,001		
法人市民税令和2年度分			50,000		
講師謝金3月分			18,000		
預り金	健康保険料・ 厚生年金保険料 源泉所得税 住民税		397,350		
			82,732		
			43,400		
流動負債合計				1,829,822	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定負債)	退職給付引当金	職員に係るもの	職員4名に対する退職金の支払いに備えたもの	567,120
固定負債合計				567,120
負債合計				2,396,942
正味財産				8,093,863

監査報告書

令和3年5月19日

公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会
会長 下鶴 隆央 殿

公益財団法人鹿児島市スポーツ振興協会

監事 高橋 雷太



監事 穂原 豊久



私たち監事は、一般財団法人鹿児島市スポーツ振興協会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上